

山下摩起展

平成 23 年 9 月 28 日 (水) ~12 月 7 日 (水)

神戸市立博物館 2 階ギャラリー



鷺

山下摩起は明治 23 年(1890)に有馬に生まれました。早くから画才に恵まれ、京都で絵を学び、20 歳にして文展に入選し、その実力を広く認められました。しかし摩起は伝統的な日本画に飽きたらず、新しい独自の表現を模索するようになります。

やがて摩起は西洋絵画の表現に注目するようになり、昭和 3 年(1928)から 2 年弱にわたりヨーロッパに滞在し、洋画の研究に没頭します。そこで摩起はキュビズムなどの表現に目覚め、帰国後、ヨーロッパ最新の視覚芸術と日本の伝統美を融合した意欲的な作品を世に問うこととなります。

日本画の新しい表現と精神世界を模索した画家・山下摩起。本展では当館の所蔵品で、この神戸ゆかりの画家の足跡を概観してみたいと思います。

-出品目録-

1	薔薇		紙、グワッシュ
2	夜の梅		紙本墨画
3	白梅	昭和 43 年(1968)	紙本淡彩
4	紅梅		紙本著色
5	早春		紙本墨画
6	蓮池		紙本著色
7	葡萄		紙本墨画
8	桃		紙本淡彩
9	瀧		紙本墨画

10	溪流	昭和 36 年(1961)	紙本墨画
11	鯉	昭和 41 年(1966)	紙本墨画
12	水鳥		紙本墨画
13	瑞鳥		紙本淡彩
14	鷺	昭和 36 年(1961)	紙本墨画
15	金剛力士 I (四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和 36 年(1961)	紙本墨画
16	金剛力士 II (四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和 36 年(1961)	紙本墨画
17	金剛力士 III (四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和 36 年(1961)	紙本墨画
18	多聞天	昭和 41 年(1966)	紙本著色
19	不動明王		紙本著色
20	文殊菩薩		紙本著色
21	菩薩		紙本著色
22	菩薩座像	昭和 36 年(1961)	紙本墨画
23	如来座像	昭和 41 年(1966)	紙本淡彩、裏箔

～略 年 譜～

明治 23(1890)年	4 月 21 日、有馬町の旅館「下大坊」の子として出生。本名は正直。	昭和 8(1933)年	第 20 回院展に「雪」を出品。
明治 29(1896)年	有馬町立有馬小学校に入学。	昭和 14(1939)年	村上華岳没後(11 月)、美術雑誌「画室」の表紙絵・口絵を担当。
明治 33(1900)年	有馬郡立有馬高等小学校に入学。	昭和 15(1940)年	初めての個展開催(大阪朝日会館)、「夜梅図」など 50 余点出品。
明治 39(1906)年	京都市立美術工芸学校絵画科に入学。	昭和 25(1950)年	画号を「摩起」とあらためる。
明治 43(1910)年	京都市立絵画専門学校に入学。	昭和 32(1957)年	高島屋美術部より「摩起画集」を刊行。
明治 45(1912)年	第 6 回文部省美術展覧会(文展)に「くさむら」を出品、褒状を受け特待生となる。	昭和 33(1958)年	四天王寺五重塔壁画制作にとりかかる。
大正 2(1913)年	京都市立絵画専門学校卒業。「ユウカリノ図」を卒業制作、4 月同校研究科に進学、竹内栖鳳の画塾、竹杖会に入る。	昭和 35(1960)年	四天王寺五重塔壁画、及び扉絵完成。3 月 10 日壁画開眼法要。
大正 4(1915)年	京都市立絵画専門学校を卒業。	昭和 36(1961)年	四天王寺五重塔壁画完成の業績に対し、昭和 35 年度朝日賞(文化賞)を受賞。
大正 11(1922)年	これまでの画号「馬山」を「摩耶」にあらためる。	昭和 41(1966)年	東本願寺難波別院に壁画「音声菩薩」を描く。
昭和 3(1928)年	渡欧。フランスに滞在、ベルギー・オランダ・イギリス・イタリアなどに旅行。	昭和 43(1968)年	東本願寺名古屋別院に壁画「弥陀」、丸善石油宇宙の宮ドーム壁画を完成。
昭和 5(1930)年	帰国。第 11 回帝展に「エリアとアンドレ」(油彩画)を出品、入選。	昭和 46(1971)年	銀杯一号に叙せられる。
		昭和 48(1973)年	11 月 7 日、永眠、享年 83 才。

次回展覧会のお知らせ

特別展	日本絵画のひみつ	12 月 10 日～1 月 22 日
ギャラリー	日本画家・西田眞人が描いた 阪神大震災	12 月 10 日～2 月 19 日